

地域災害支援医師 養成研修 プログラム（案）

※災害医療に関する基礎知識を幅広くカバーできる「JMAT研修要綱」に基づくプログラムに準拠

1. 講義（各自でweb動画を視聴のうえ、確認テストを行う）

講義科目	概要	講師	時間配分
イントロダクション	挨拶、研修の目的、プログラムと学習目標	医務課	5分
県の体制	県の災害医療体制	医務課	15分
制度説明	地域災害支援医師・看護師制度	医務課	15分
災害医療概論	災害に関する共通理念・言語、災害医療関連制度 コーディネート機能の下での活動 DMAT等との役割分担と連携 安全確保	DMAT	45分
JMAT総論	JMAT要綱 日医、県医師会、郡市医師会に求められる役割 現場の環境改善、感染制御 医薬品・資器材リスト	県医師会	30分
情報の共有・記録	クロノロジー 衛星電話、トランシーバー EMIS 災害診療記録	DMAT	15分
病院前での活動	受援側、被災地JMATとしての活動 所属医師会の災害対応マニュアル、行政との協定等 行政との連携	医務課	15分
トリアージ	トリアージタグ、START法	DMAT	45分
熱傷・外傷の処置	気道熱傷、外傷時の止血法その他災害時の傷病	DMAT	45分
合計			230分

2. 実習（各自の参集先病院で行われる実習に現地参加）

実習科目	概要	講師	時間配分
トリアージ	トリアージの演習 実施場所・患者の配置場所	(参集先病院ごとに異なる)	同左
応急処置	軽症者への応急処置 重症・中等症患者の安定化処置及び院内への引き継ぎ		
災害診療記録	災害診療記録の作成		
動作確認	参集～撤収までの一連の流れ		
※上記のほか、地域ごとに必要と考えられるメニューを追加して実施 (例) 院内施設・設備の確認、役割分担の確認 等			